

コンプライアンス経営、内部統制、リスク管理が「仏作って魂入れず」ではないですか？

# 「内部統制&リスクマネジメント健診」

組織の統制状況の意識調査(質問書型CSA)で、健全性の見える化をご支援致します！

## 日本初！会社法・J-SOX・リスク対策 日本版COSOモデルの完全準拠ツール

1. 会社法や過去の判例から必須の内部統制・リスク管理の補強ポイントを、ピンポイントで把握し効率的対応
2. 頭でわかっているだけでは不十分！実際に実践できているかを問う現場重視
3. クラウド型でPC活用での調査も、紙媒体での調査も可能。英語・中国語の多言語対応もご相談下さい。(オプション対応)

日本版COSOモデルの4目的×6構成要素の24マスでコンプライアンスやリスク管理全般の意識(認識と実践)を多面的に調査致します。



### POINT

組織状況の「問診」・「CTスキャン」で課題を明確化。認識面・実践面の意識調査での診断をベースに、改善アクションプラン策定や教育・IT対応などワンストップでご支援致します。異文化対応のワークショップや、海外拠点・現地法人の内部統制対応もご相談下さい。

## 内部統制&リスクマネジメント健診 のアウトプットのご紹介(例)

コンプライアンス、内部統制、リスク管理をはじめ業務適正執行状態を定量化し、更に、各組織に応じた定性評価コメントで実態に即したアドバイスでご支援します

**回答傾向が一目でわかる  
詳細データ解析**

**拠点ごとの統制状況の一覧比較**

**分析グラフ  
上司・部下のギャップ**

**会社統制コメント**

会社を通じて、コンプライアンス統制に課題がみられます。特に、コンプライアンスの実効性を高めるため、不正対策や問題の早期発見・早期是正ができていないため、善管注意義務が十分に履行されていない可能性があります。内部通報制度(ホットライン)の整備・運用が不十分であるため、社内で「内部統制の心」の対応が後手後手に回ること危険性があります。

**現状** 現状の弱み 上位項目(MAX)

**課題** 未定額れリスク(緊急性・重要性)

**改善案** 社内統制の強化(コンプライアンス)の推進(緊急性・重要性)による統制の適用の失敗の可能性

**対策** 社内統制の強化(コンプライアンス)の推進(緊急性・重要性)による統制の適用の失敗の可能性

**留意事項** 「わからない」と回答している割合が大きくなり、内部統制自体を十分に理解できていない傾向にあります。この状態で内部統制対策を推進しても、部下の「わからない」が仏作って魂入れずの形骸化した内部統制になる可能性が高いです。まずは内部統制を現場で実践する意識を醸成して、組織の健全性を高めるための取組の推進が必要となります。又、内部統制報告書の採録運用が必要となります。

**日本版COSOモデルに沿って、何をどこまでやれば良いかを  
浮き彫りにする 全社・管理職・一般各層のサマリー報告書**

開発者ご紹介



【日本マネジメント総合研究所LLC 理事長 公認不正検査士 戸村智憲】  
早大卒。米国MBAにて全米優秀大学院生受賞。国連勤務にて国連内部監査ミッション・エキスパート、国連戦略立案ミッション・エキスパートを担当。民間転出後、企業役員も経験。元、経営行動科学学会理事(兼)東日本研究部会長。NHK「クローズアップ現代」にて同番組制作指導、監修、TV出演。略歴詳細は、www.jmri.co.jpの理事長ご紹介ページをご参照下さいませ。

【こんな方々に最適です】

- ・コンプライアンス経営や内部統制で何をどこまでやれば良いかお悩みの企業様
- ・形式的に整備・運用しているが、本当に現場まで内部統制が浸透しているかお悩みの企業様
- ・会社法や善管注意義務に沿って、内部統制システムを構築・強化したい団体様
- ・海外拠点のコンプライアンス対応にお悩みの企業様 など

ピンポイントで問題のある個所だけを集中補強しムダなお金をかけないための…

# 「内部統制&リスクマネジメント健診」

組織の統制状況の意識調査(質問書型CSA)で、健全性強化をご支援致します！

## 【統制状況の自己評価(CSA:コントロール・セルフ・アセスメント)の3類型とその長短比較】

### ワークショップ型

#### <長所>

- ・多人数の参加で多様なアイデア
- ・現場の専門性をフル活用できる
- ・全員参画型の議論が深まる

#### <短所>

- ・匿名性が保ちにくく本音が出にくい
- ・担当者の内部統制の深い見識必須
- ・他人の意見に引っ張られる可能性

### インタビュー型

#### <長所>

- ・各個人の深い考えを引き出す
- ・質問の主旨や狙いを説明可能
- ・焦点を絞って問題の深堀り可能

#### <短所>

- ・担当者からの報復を恐れがち
- ・内部担当者とは本音で話しにくい
- ・正確性ある面接技法が高難度

### 質問書型(本ツールの標準形)

#### <長所>

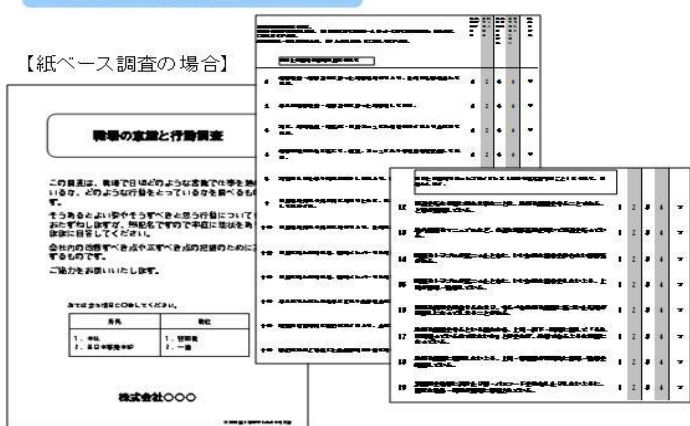
- ・匿名性が高く本音で回答しやすい
- ・担当者の労力が少なくて済む
- ・グループ討議より個々の認識反映

#### <短所>

- ・議論により共通認識がとりにくい
- ・質問項目作成に高度な知識必須
- ・自社対応は集計分析で苦勞する

★自社対応では難しい内部統制のチェックを本ツール(標準形)とオプション活用で各長所を組み合わせも有効

### 紙媒体の質問票(イメージ)



ウェブ版の内部統制&リスクマネジメント健診のイメージ画像

## 基本料金表

公共性・非営利性の高い機関様などには優待価格もあり。ご相談下さい

## オプションメニュー例(別途お見積り)

調査対象人数	基本調査費用(カスタマイズ等別途)
150名以下	基本料金300万円(本体価格)
~700名以下	上記+2000円×(150名との差分の調査対象人数)
~1000名以下	上記+1850円×(700名との差分の調査対象人数)
~5000名以下	上記+1700円×(1000名との差分の調査対象人数)
5001名~	上記+1500円×(5000名との差分の調査対象人数)

- 外国語翻訳・海外拠点対応(質問書の翻訳)
- インタビュー、往査・現場視察サポート・代行・助言
- 異文化理解ワークショップ
- 企業健全化プログラム(アクションプラン)作成
- 伴走型のアドバイザー(コンサルティング)
- コンプライアンス・内部統制研修
- その他、ご要望に応じてお気軽にご相談下さい

### お問合せ先・開発・販売・提供元:

日本マネジメント総合研究所合同会社  
 107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル5階  
 電話:03-6894-7674  
 FAX:03-6800-3090  
 E-mail: info@jmri.co.jp  
 HP: http://www.jmri.co.jp

販売代理店(直販の場合は空白):